

平成30年度（2018年度）

都市基盤部事業概要



大阪音楽大学周辺整備事業（音大通り線の整備）

～子どもたちの未来が輝くまちづくり～

豊中市

～ 目 次 ～

1. 都市基盤部の使命、取り組み方針及び目標	1
2. 組織	6
2-1. 組織図	6
2-2. 各課の事務概要	7
3. 平成30年度(2018年度)の重点事業	8
3-1. にぎわい創出を支援する道路整備の推進	8
(1) 大阪音楽大学周辺整備事業	8
(2) 歩いて楽しい道づくり計画の策定	9
(3) 千里中央駅前広場再整備検討	9
3-2. 災害に強い都市基盤の構築	11
(1) 穂積菰江線整備事業	11
(2) 曾根島江線整備事業	12
(3) 利倉橋整備事業	13
(4) 神崎刀根山線菰江交差点整備事業	14
3-3. 道路のバリアフリー化の推進	15
(1) 歩道改良整備事業	15
(2) 住居地区バリアフリー整備事業	15
(3) 可動式ホーム柵導入の推進	16
3-4. 交通安全対策の推進	17
(1) 通学路交通安全プログラムの推進	17
(2) 交通安全啓発	17
3-5. 自転車の走行・駐輪環境の改善	19
(1) 放置自転車の縮減に向けた取り組みの充実	19
(2) 自転車通行空間整備事業	19
(3) 自転車駐車場の形態・運営の見直し	20
3-6. 公共交通の安全性・利便性の向上	21
(1) 公共交通改善計画の策定	21
(2) 千里中央駅前広場再整備検討(再掲)	21
(3) 可動式ホーム柵導入の推進(再掲)	21
(4) バス停ベンチ設置の推進	22
(5) ノンステップバス導入の推進	22
3-7. 都市基盤の長寿命化の推進	23
(1) 道路橋等の長寿命化事業	23
(2) 道路ストックの総点検	25

(3) 路面下空洞調査事業	25
(4) 主要道路舗装事業	26
(5) 生活道路舗装事業	26
(6) 道路通報アプリの運用	26
4. その他の取り組み	27
4-1. 庄内東駅前線整備事業	27
4-2. 平塚熊野田線整備事業	27
4-3. 上新田第45号線整備事業	28
4-4. 末広町地区（千歳通り、若葉通り）の道路敷の適正化	28
4-5. 細街路計画の見直し	28
4-6. 寄附道路整備助成事業	29
4-7. 歳入確保の取り組み	29
4-8. 風水害警戒体制	30
4-9. ほたるの夕べ	30

1. 都市基盤部の使命、取り組み方針及び目標

都市基盤部の使命

市民が暮らしやすく、安全で快適な生活ができるよう、市が管理する道路、橋梁及び水路等を整備していくとともに、適正な維持管理を行うことにより、災害に強い都市基盤を構築し、本市の安心・安全なまちづくりをめざす。

使命を遂行するための取り組み方針

- 安心・安全なまちづくりをめざすため、災害に強い都市基盤の構築、バリアフリー化、交通安全対策、自転車走行の環境改善及び公共交通の安全性・利便性の向上を重点的に進めます。
- まちなぎわい創出を支援するため、景観など地域の特色に配慮した道路整備を進めます。
- 急激に更新時期を迎える道路・水路については、定期的な点検調査を進め、計画的な修繕により施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの低減をめざします。
- 道路・水路の建設及び維持管理については、限られた予算で最大限の効果が発揮できるよう、両者を合わせた優先順位付けに基づく「選択と集中」を進め、事業を実施します。
- 各事業について、その必要性及び効果を検証し、事業内容、規模及び運営手法の見直しを図り、適正な人員の中で質の高い市民サービスを提供できるよう改革します。

平成 30 年度（2018 年度）の目標

取り組み事項及びその内容	
1	にぎわい創出を支援する道路整備の推進 ○千里中央駅前広場について、北大阪の広域拠点として機能するよう、周辺の商業施設と合わせた再整備素案を策定します。 ○水と緑がつながる「とよなか散歩道」について、誘導サインなどの設置及び安全対策に必要な工事を実施します。 ○音大通り線について、庄内駅側工区の整備を進めます。
	災害に強い都市基盤の構築 ○防災ラインとして機能する都市計画道路穂積菰江線について、平成 31 年度（2019 年度）の工事着手に向け、各管理者と調整を行います。 ○神崎刀根山線菰江交差点について、安全性及び円滑性向上を図るため、平成 33 年度（2021 年度）着手に向け、関係者協議等の準備を進めます。 ○都市計画道路曾根島江線について、交通の安全性及び円滑性の向上を図るため、平成 31 年度（2019 年度）の事業認可に向け、準備を進めます。 ○利倉橋について、交通の安全かつ円滑な通行を確保するため、平成 33 年度（2021 年度）の完成に向け、事業の推進を図ります。
3	道路のバリアフリー化の推進 ○安全で快適な歩行空間を形成するため、「歩道改良実施計画」に基づき主要道路の整備を進めます。 ○生活道路等について、ワークショップ等により市民の意見を反映した地区整備計画を策定し、設計・工事を進め、平成 32 年度（2020 年度）完成に向け、住居地区バリアフリー整備を推進します。 ○鉄道駅での視覚障害者をはじめとする利用者のホームからの転落を防止するため、大阪モノレール千里中央駅に可動式ホーム柵を設置します。
	交通安全対策の推進 ○「通学路交通安全プログラム」について、通学路点検を行い、安全対策について関係機関と協議を行い 2 回目のプログラム策定を行います。 ○警察等関係者と連携し、交通安全教室、フェア及び街頭啓発等の啓発を実施します。
5	自転車の走行・駐輪環境の改善 ○駅周辺の放置自転車等の更なる減少に向けて、移動・保管の効果的な手法を検討します。 ○安全で快適な自転車利用環境の創出するため、自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を推進します。 ○自転車駐車場整備センターが運営する駐輪場について、次年度以降の管理・運営に向けた調整を行います。

6	公共交通の安全性・利便性の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ○マイカーに頼らなくても移動できる交通体系を整備するため「公共交通改善計画（素案）」を策定します。 ○千里中央駅前広場について、北大阪の広域拠点として機能するよう、周辺の商業施設と合わせた再整備素案を策定します。（再掲） ○鉄道駅での視覚障害者をはじめとする利用者のホームからの転落を防止するため、大阪モノレール千里中央駅に可動式ホーム柵を設置します。（再掲）
7	都市基盤の長寿命化の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ○都市基盤施設について、定期的な点検と予防保全を行い、長寿命化を図ります。 ○千里橋について、平成 30 年度（2018 年度）完成をめざし、長寿命化修繕、耐震補強及び防風板設置等の工事を進めます。 ○日常的な維持修繕については、パトロールや市民の方々の通報に基づき、優先順位を付けた上で迅速に対応します。 ○街路樹について、倒木や枯れ枝による落下を未然に防止するために、危険木を撤去するとともに、維持管理計画を策定します。

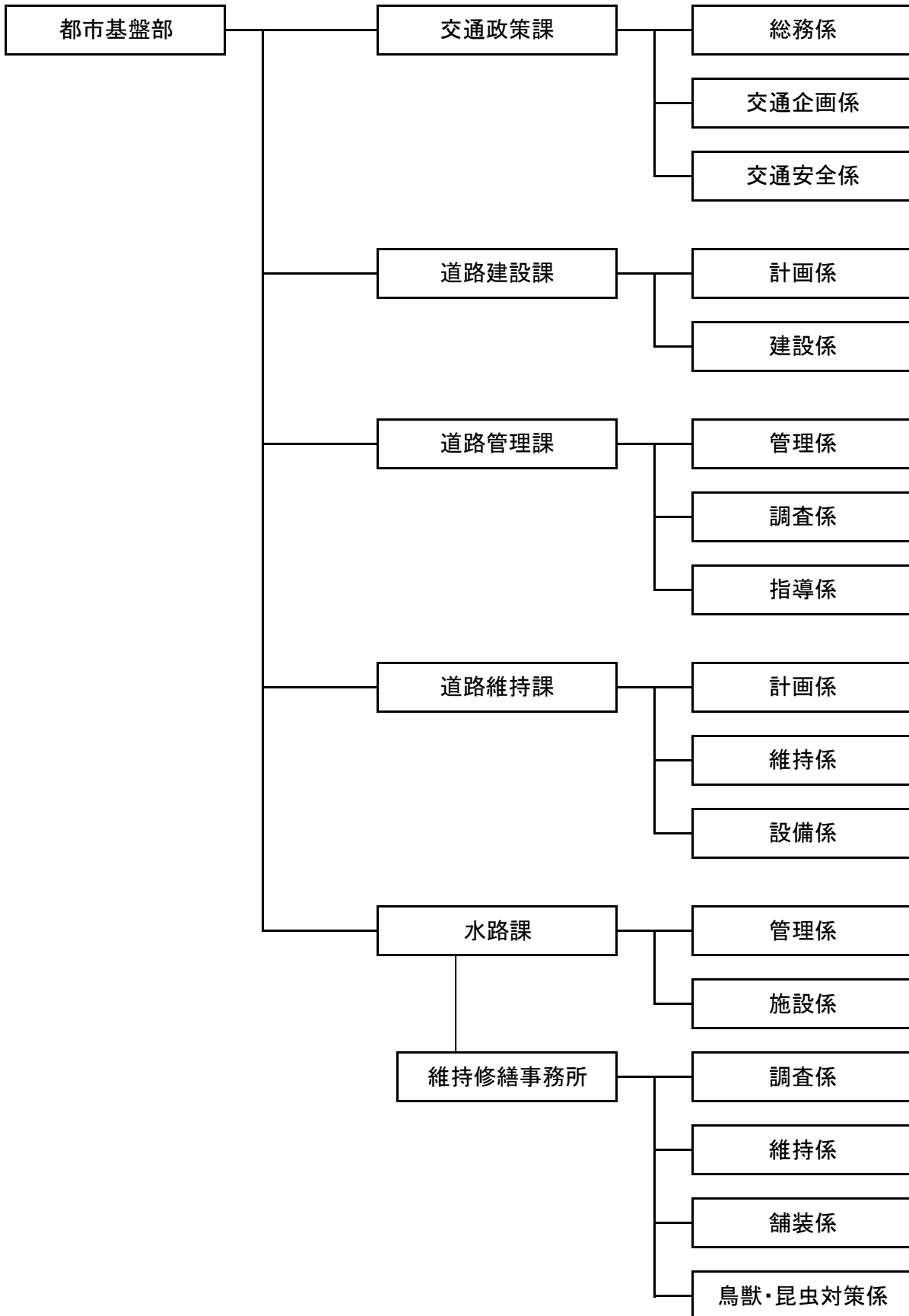
中期目標（おおむね今後4年間）

	取り組み事項	取り組みにあたっての課題及びめざす成果など
1	にぎわい創出を支援する道路整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○千里中央駅前広場について、北大阪の広域拠点として機能するよう周辺商業施設と合わせた再整備が平成32年度（2020年度）前後に着手できるよう推進します。 ○庄内駅から大阪音楽大学周辺道路について、音大通り線の庄内駅側工区の工事を実施します。
2	災害に強い都市基盤の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○防災ラインとして機能する都市計画道路穂積菰江線について、平成32年度（2020年度）の完成をめざし事業を推進します。 ○神崎刀根山線菰江交差点については、平成33年度（2021年度）の完成をめざし事業を推進します。 ○都市計画道路曾根島江線について、平成31年度（2019年度）の事業認可をめざし、準備を進めます。 ○交通の安全性及び円滑性向上を図るため利倉橋架替えについて、平成33年度（2021年度）の完成をめざし事業を推進します。
3	道路のバリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○平成32年度（2020年度）完成に向け、歩道改良整備を推進します。 ○生活道路等について、ワークショップ等により市民の意見を反映した地区整備計画を策定し、設計・工事を進め、平成32年度（2020年度）完成に向け、住居地区バリアフリー整備を推進します。 ○可動式ホーム柵について、平成30年度（2018年度）以降も引き続き、大阪モノレール及び阪急宝塚線の整備について調整を図り、必要な支援に取り組みます。
4	交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○「通学路交通安全プログラム」に基づき、点検及び安全対策を継続的に実施します。 ○警察等関係者と連携し、交通安全啓発を実施します。
5	自転車の走行・駐輪環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○放置自転車の縮減に向け、駐輪場の整備・改善を推進するとともに、啓発及び撤去活動の強化を図ります。 ○安全・安心で快適な自転車利用環境の創出を図るため、自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を推進します。 ○自動車駐車場整備センターが管理運営する駐輪場について、緑地公園駅、曾根駅各地区のモデル地区を参考に、運営手法等の改善を図ります。

6	公共交通の安全性・ 利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○市民がマイカーに頼らなくても移動できる交通体系の整備をめざし、公募市民、学識経験者等からなる「豊中市地域公共交通協議会」において、平成 30 年度（2018 年度）に計画の検討を行い、平成 31 年度（2019 年度）に「公共交通改善計画」を策定し、施策実施準備を進め、具体的な取り組み施策を平成 32 年度（2020 年度）から実施します。 ○北大阪急行延伸に合わせ、平成 32 年度（2020 年度）頃には千里中央駅前広場の再整備が出来るよう、検討・協議を進めます。（再掲） ○可動式ホーム柵について、平成 30 年度（2018 年度）以降も引き続き、大阪モノレール及び阪急宝塚線の整備について調整を図り、必要な支援に取り組みます。（再掲）
7	都市基盤の長寿命化 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○都市基盤施設について、定期的な点検と予防保全を行い、長寿命化を図ります。 ○日常的な維持修繕については、パトロールや市民の方々の通報に基づき、優先順位を付けた上で迅速に対応します。

2. 組織

2-1. 組織図



2-2. 各課の事務概要

(1) 交通政策課

交通政策課は、部の総括事務に加えて、交通対策の企画・調整、めいわく駐車や駐輪対策及び交通安全の啓発などを行っています。また、放置自転車などの移動・保管・啓発活動及び自転車駐車場に関わる業務を行っています。

(2) 道路建設課

道路建設課は、道路及び街路事業として道路や橋梁等の計画から設計、工事までを行い、安全で快適な道づくりを進めています。また、主要道路や生活道路のバリアフリー化を計画的に推進しています。

(3) 道路管理課

道路管理課は、市道認定、道路台帳管理、境界管理、道路占用許可、道路に関する協議、道路の不正使用の取締りなどの道路管理を行っています。

(4) 道路維持課

道路維持課は、市民要望による道路・橋梁の維持修繕並びに照明施設、道路反射鏡及び安全柵などの新設改良や維持修繕を行うとともに、老朽化する道路ストックの適切な維持管理と長寿命化を図るため、施設の点検を行い、健全度評価に基づく修繕計画を策定し、道路橋・歩道橋・道路舗装及び道路照明などの計画的な改修を行っています。

(5) 水路課

水路課は、水路、深井戸ポンプ及び樋門などの改良、修繕、管理を行っています。特に親水水路は市民が水に親しみながら、景観を楽しんでいただけるように配慮しています。また、関係部局と協力し、大雨や台風等による水防活動を行っています。

〈維持修繕事務所〉

都市基盤部維持修繕事務所では、市の管理する道路・水路に関する簡易な構造物の補修、舗装、除草、清掃に加えてスズメバチ等の駆除もを行っています。

3. 平成 30 年度（2018 年度）の重点事業

3-1. にぎわい創出を支援する道路整備の推進

まちのにぎわい創出を支援するため、景観など地域の特色に配慮した道路整備を進めます。

(1) 大阪音楽大学周辺整備事業

【概要】

庄内駅から大阪音楽大学までのアクセス路について、基本コンセプトを「音楽を通じたにぎわい溢れるまち」とし、地域の特色を踏まえ、「リズムゾーン」、「メロディゾーン」、「ハーモニーゾーン」にゾーニングし、各ゾーンのデザインコンセプトに応じた景観整備を行い、にぎわいが感じられる空間形成を図ります。また、音大通り線については、音大生と「音楽溢れるまち」をテーマとした意見交換会を開催し、音楽を目で楽しむことができる平板ブロックのデザインの提案等を受け、整備計画を取りまとめ、景観の向上を図ります。

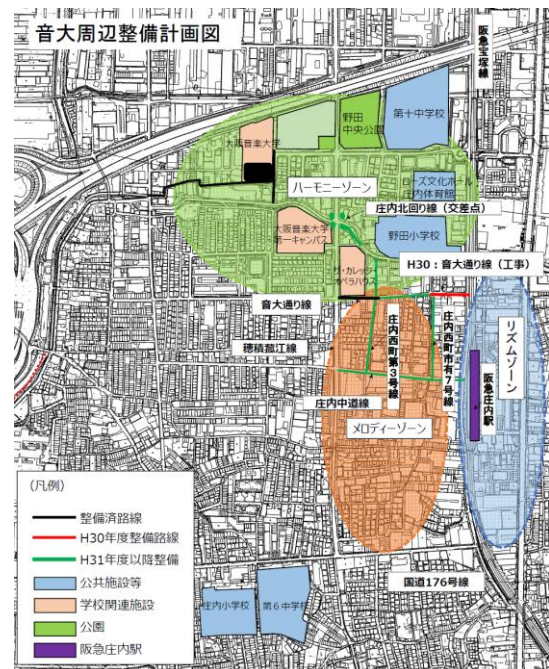
【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

- 音大通り線の整備工事

L=80m、W=6.0m



平成 29 年度（2017 年度）整備箇所



【スケジュール】

- 平成 26 年度（2014 年度）：大阪音楽大学へのアクセス道路景観整備基本計画、周辺道路の詳細設計
- 平成 27 年度（2015 年度）：エントランス部の整備工事、音大通り線の予備設計
- 平成 28 年度（2016 年度）：周辺道路及び憩いの広場の整備工事
音大通り線の詳細設計
- 平成 29 年度（2017 年度）：音大通り線の整備工事（1-1 工区）
- 平成 30 年度（2018 年度）：音大通り線の整備工事（1-2 工区）
- 平成 31 年度（2019 年度）：音大通り線の整備工事（1-3 工区）、庄内北回り線（交差点）の詳細設計
- 平成 32 年度（2020 年度）：庄内北回り線の整備工事（予定）、庄内西町第 3 号線の詳細設計
- 平成 33 年度（2021 年度）：庄内西町第 3 号線の整備工事（予定）、庄内中道線の詳細設計
- 平成 34 年度（2022 年度）：庄内中道線の整備工事（予定）、庄内西町市有 7 号線の詳細設計
- 平成 35 年度（2023 年度）：庄内西町市有 7 号線の整備工事（予定）

(2) 歩いて楽しい道づくり計画の策定

【概要】

市内には、公園、緑地、水路、河川等の優れた景観資源が点在していますが、これを結ぶネットワークが確立されていません。一方、南部には河川や水路の親水空間、水路跡を活用した緑道等、北部には車道から独立した街路樹のあるゆったりとした歩路等が整備されていますが、個々の事業で完結し、一連の動線とはなっていません。

また、高齢化が進展する中、「まちを歩く」ことは生活習慣病等の予防に効果があると報告されています。加えて「まちを歩く」ことで生まれる交流機会は、コミュニティ活動を促進し、地域活力の向上にも繋がるのが期待されます。これらのことから、親水空間、緑道、千里の歩路等の既存ストックを活用し、緑や水の空間等の景観資源を散策できる、歩いて楽しい歩行者ネットワーク（水と緑がつながる「とよなか散歩道」）の整備を推進し、「住み続けたい」、「住んで良かった」と実感できる、まちの魅力の向上を図ります。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

- ・スポット的な安全対策及びサイン設置工事、供用開始
冊子の配布等市民向け広報

【スケジュール】

- ・平成 27 年度（2015 年）：基本計画
- ・平成 28 年度（2016 年）：歩行者ネットワーク計画の策定
- ・平成 29 年度（2017 年）：広報及びサイン計画（「とよなか散歩道冊子」作成）
詳細設計
- ・平成 30 年度（2018 年）：スポット的な安全対策及びサイン設置工事、供用開始
市民向け広報

(3) 千里中央駅前広場再整備検討

【概要】

平成 32 年度（2020 年度）の北大阪急行延伸線開業に合わせ、千里中央地区活性化ビジョンの実現に向けた取り組みが府や地元企業等と進められている。この取り組みに合わせ、当該地区が抱える交通問題の解決をめざし、将来の交通需要を考慮した安全で快適な駅前空間の実現に向けて、駅前広場再整備の検討を進めます。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

- ・関係部局と連携し、基盤整備にかかる交通解析等、技術的検討に必要な資料作成を行います。
- ・地権者や事業者、交通管理者等との協議・調整を行います。

【スケジュール】

- ・平成 29～32 年度（2017～2020 年度）：関係者協議、検討、設計
- ・平成 32 年度（2020 年度）～：北急延伸線開業・バスの再編・バスターミナル等
駅前広場および駅周辺道路の再整備

3-2. 災害に強い都市基盤の構築

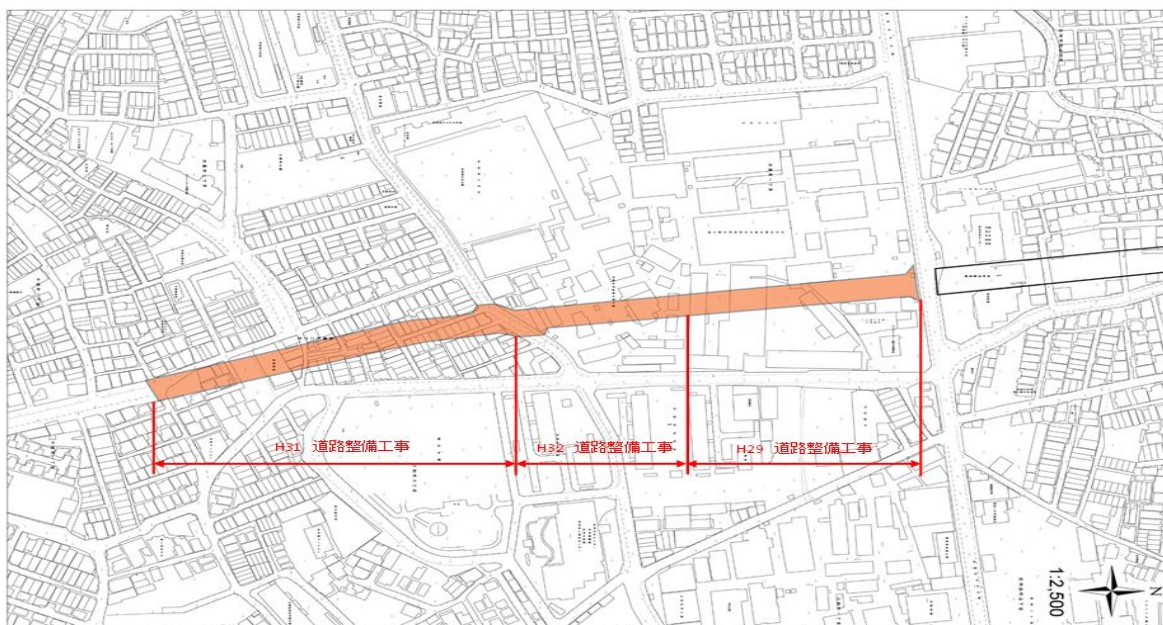
良好な市街地の形成を図るため、地区内で発生・集中する交通と通過する交通を区分し、その機能に応じた構造で、適切にネットワーク化された都市計画道路整備を推進します。

(1) 穂積菰江線整備事業

【概要】

都市計画道路穂積菰江線は、木造住宅密集地で阪神淡路大震災の被災地でもある豊中市南部の庄内地区に位置する補助幹線道路です。

庄内地区は道路や公園等の公共空間が不足しており、住環境の向上をめざしたまちづくりの一環として本路線の事業に着手しました。震災後の平成7年(1995年)9月には、災害に強いまちづくりを進めるため、防災ラインと位置づけ、事業区間を庄内地区全域に拡大し、平成26年度(2014年度)から本格的に大黒町地区の道路整備に向けて取り組み、平成32年度(2020年度)の完成をめざしています。



【平成30年度(2018年度)事業概要】

- ・地下埋設工事(住居地区内/庄内南1号線以南)

【スケジュール】

- ・平成27年度(2015年度) : 関係機関等との協議、詳細設計
- ・平成28年度(2016年度) : 関係機関等との協議
- ・平成29年度(2017年度) : 整備工事(都市計画道路/三国塚口線以南)
- ・平成30年度(2018年度) : 地下埋設工事(住居地区内/庄内南1号線以南)
- ・平成31年度(2019年度) : 整備工事(住居地区内/庄内南1号線以南)
- ・平成32年度(2020年度) : 地下埋設工事、整備工事(大規模工場跡地)、全線完成



完成区間



現況／三国塚口線以南

(2) 曾根島江線整備事業

【概要】

都市計画道路三国塚口線と交差する島江町交差点について、安全で円滑な交通環境を確保するため、都市計画幅員を8mから15mに計画変更し、交差点改良を進めます。

【平成30年度（2018年度）事業概要】

- ・都市計画変更
- ・権利者等の意向調査
- ・地元説明

【スケジュール】

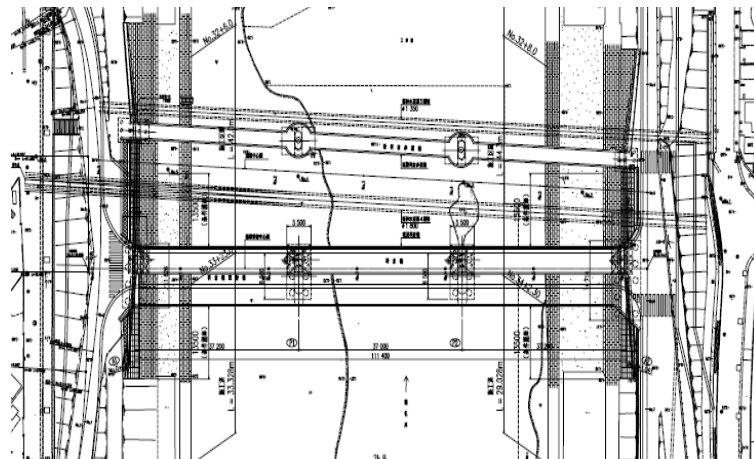
- ・平成28年度（2016年度）：関係者等との協議
- ・平成29年度（2017年度）：都市計画変更資料作成
- ・平成30年度（2018年度）：地元説明、計画変更、権利者等意向調査
- ・平成31年度（2019年度）：計画変更、事業認可
- ・平成32年度（2020年度）：用地測量、用地交渉
- ・平成33年度（2021年度）：用地交渉、用地買収・補償
- ・平成34年度（2022年度）：用地交渉、用地買収・補償、詳細設計
- ・平成35年度（2023年度）：用地交渉、用地買収・補償
- ・平成36年度（2024年度）：用地交渉、用地買収・補償、交差点改良工事



(3) 利倉橋整備事業

【概要】

利倉橋は、昭和 42 年（1967 年）に旧建設省により架橋され、利倉西地区と利倉地区を連絡する道路橋として利用されています。本橋は、交通量が多いにもかかわらず、幅員が 4.5m と狭隘(きょうあい) であることから、車両の安全性及び円滑性が阻害されているため、現橋位置での架替えを行います。



【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

- ・（現況）L=111.1m、W=4.5m
- ・（計画）L=110.7m、W=10.0m
- ・両岸取付け道路、現橋上部工撤去（H29・30 債務負担行為）
- ・左岸側下部工（国施工）（H30・31 債務負担行為）

【スケジュール】

- ・平成 28 年度（2016 年度）：事業説明会、河川占用許可申請
- ・平成 29 年度（2017 年度）：事業説明会、両岸取付け道路、仮橋架設、現橋上部工撤去
- ・平成 30 年度（2018 年度）：下部工（国施工）
- ・平成 31 年度（2019 年度）：下部工（国施工）
- ・平成 32 年度（2020 年度）：下部工（国施工）、上部工
- ・平成 33 年度（2021 年度）：両岸取付け道路、仮橋撤去



(左岸側)



(右岸側)

整備イメージ

(4) 神崎刀根山線菰江交差点整備事業

【概要】

国道 176 号と神崎刀根山線が交差する菰江交差点について、交通の円滑化と安全性の向上とともに、交通渋滞の解消を図るため、神崎刀根山線の道路改良を実施します。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

- ・線形検討、関係機関との協議

【スケジュール】

- ・平成 30 年度（2018 年度）：線形検討、関係機関との協議
- ・平成 31 年度（2019 年度）：詳細設計、関係機関との協議
- ・平成 32 年度（2020 年度）：地元説明、関係機関との協議
- ・平成 33 年度（2021 年度）：交差点改良工事

3-3. 道路のバリアフリー化の推進

だれもが気軽に出かけ、社会参加することができるよう、バリアフリーな歩行空間を確保するため、整備を進めます。また、市民生活が営まれるエリアにおいて、人が主役となる安全で快適な道路の整備を進めます。

(1) 歩道改良整備事業

【概要】

歩道の「狭い」「勾配がきつい」「段差・凹凸がある」等の問題に対処し、安全で快適な歩行空間を形成するため、平成24年(2012年)9月に策定しました「歩道改良実施計画(改訂版)」に基づき、拡幅や構造形式の変更などの改良整備を進めます。

【平成30年度(2018年度)事業概要】

整備工事			
路線名	位置	延長(m)	備考
東豊中線(2工区)	本町7丁目	215.0	H29・30債務負担行為
東豊中線(3工区)	本町8丁目	190.0	H30・31債務負担行為

【スケジュール】

平成32年度(2020年度)：市内全域の主要道路の歩道バリアフリー化(目標)



施工前



施工後

(2) 住居地区バリアフリー整備事業

【概要】

市民にとって最も身近な生活道路等について、市域を1~2中学校区程度の8地区に区分し、ワークショップ(道路を歩きやすくするための意見交換会)や地区内にお住まいの身体障害者の方々へのアンケート調査などにより、市民の意見を反映した計画づくりを順次行い、スポット的なバリアを面的に整備します。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

- ・高川・豊南小学校区（第 12 中学校区）の整備工事
- ・克明・原田・豊島西・豊島北・箕輪小学校区（第 1・15 中学校区）の一部整備工事
- ・上野・少路・野畑・東豊台・北緑丘小学校区（第 11・14 中学校区）の実施設計
- ・大池・蛸池・桜井谷・刀根山・桜井谷東小学校区（第 2・13・18 中学校区）の事業計画策定

【スケジュール】

- ・平成 32 年度（2020 年度）：市内全域の生活道路バリアフリー化（目標）



（3）可動式ホーム柵導入の推進

【概要】

鉄道駅利用者のホームからの転落を防止する目的で設置される可動式ホーム柵の導入を推進するため、鉄道事業者に対し可動式ホーム柵整備に要する経費の一部補助を行います。

【スケジュール】

- ・平成 30 年度（2018 年度）：大阪モノレール千里中央駅（整備予定）



可動式ホーム柵（北大阪急行電鉄千里中央駅）

3-4. 交通安全対策の推進

だれもが安全で安心して市内を移動できるような交通環境を実現するために、交通事故の防止に向けて、交通安全教育・交通安全運動を通じ、安全意識を啓発するとともに、通学路の安全点検に基づく交通安全施設の整備等を進めます。また、放置自転車解消に向けた取り組みを進めます。

(1) 通学路交通安全プログラムの推進

【概要】

年々変化する交通環境に合わせた通学路の安全確保の取り組みを継続するために、学校・PTA、警察などの関係機関で組織する推進体制を構築し、平成 28 年（2016 年）3 月に「豊中市通学路交通安全プログラム」を策定しました。このプログラムは、市内全 41 小学校で 3 年ごとに定期点検を実施し、点検、対策、評価、改善を繰り返し行うことで通学路の安全性の向上を図るもので、この推進により着実かつ効果的に通学路の交通安全確保に努めます。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

定期点検を実施し、これに基づく対策箇所について、順次ハード及びソフト面の対策を実施します。また、その進捗状況を市ホームページにおいて公表します。

(2) 交通安全啓発

市長を会長として、豊中警察署・豊中南警察署及び民間団体等の 37 団体で構成する「交通事故をなくす運動」豊中市推進協議会を設置し、相互に連携しながら下記事業を進めています。

○交通安全教育

- ・こども園・保育所・幼稚園の親子ぐるみの交通安全教室
- ・小学校・中学校・高等学校の交通安全教室
- ・高齢者交通安全リーダー等の交通安全講習
- ・一般ドライバーを対象とした安全運転者講習



小学校の交通安全教室



中学校の交通安全教室

○交通安全運動

- ・春の全国交通安全運動
- ・夏の交通事故防止運動
- ・秋の全国交通安全運動
- ・年末の交通事故防止運動



春の交通安全フェア in とよなか

○自転車の交通安全

- ・11月の「自転車マナーアップ強化月間」における街頭啓発等
- ・「自転車の安全指導日」の街頭啓発（毎月8日）

○市民協働

- ・通学路の安全対策（通学路交通安全プログラム）
- ・めいわく駐車追放パトロール
- ・高齢者交通安全モデル地区
- ・地域主催の交通安全教室
- ・協働事業市民提案を活用した交通安全教室



めいわく駐車追放パトロール



地域主催の交通安全教室

3-5. 自転車の走行・駐輪環境の改善

(1) 放置自転車の縮減に向けた取り組みの充実

【概要】

駅周辺に利便性の良い駐輪場を設置するとともに、通行の妨げになっている放置自転車等の撤去を行っており、市民や警察、鉄道事業者と連携し、啓発活動に取り組んでいます。



撤去前



撤去後

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

- ・少路駅自転車駐輪場拡張に向けた関係者協議
- ・豊中駅東第 1 自転車駐輪場改修に向けた関係者協議

○民間駐輪場整備助成事業

【概要】

駅周辺の放置禁止区域において、空き地や空き店舗を活用した利便性の良い民間による駐輪場の整備を促進するため、駐輪場の整備に要する経費の一部を助成します。

(2) 自転車通行空間整備事業

【概要】

自転車利用者の増大に対応する安全対策及び自動車から自転車への利用を促進する環境対策に対するニーズが高まっていることから、既存ストックを活用した、安全で快適な自転車利用環境の創出をするため、『豊中市自転車通行空間整備の考え方』（平成 26 年 6 月）を策定しました。

これに基づき、自転車通行空間の試験施工として、阪急西側北線と阪急東側線に自転車通行帯の整備、東豊中線には自転車マークを設置し、その後、アンケート調査を含め、通行実態調査による自転車マナーの順守率などの効果検証を行いました。この結果を踏まえ、平成 28 年（2016 年）7 月に改訂された国のガイドラインに基づき、道路や交通状況に応じた安全で快適な自転車通行空間を創出するため、全市的な自転車通行空間ネットワーク計画を策定し、計画に基づき、順次自転車通行空間の整備に取り組めます。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

- ・ 自転車通行空間の整備（側溝の暗渠化）
阪急東側線（曾根駅以北 L=132m）
- ・ 整備予定路線の詳細設計



【スケジュール】

- ・ 平成 26 年度（2014 年度）：「豊中市自転車通行空間整備の考え方」の取りまとめ
- ・ 平成 27 年度（2015 年度）：東豊中線、阪急西側北線、阪急東側線の整備工事
（府道伊丹豊中線以北）
東豊中線の効果検証
- ・ 平成 28 年度（2016 年度）：阪急西側北線、阪急東側線の整備工事
（府道伊丹豊中線以南）
阪急西側北線、阪急東側線の効果検証、街頭啓発
- ・ 平成 29 年度（2017 年度）：全市的なネットワーク計画策定
- ・ 平成 30 年度（2018 年度）：阪急東側線（曾根駅以北 L=132m）の整備工事
整備予定路線の詳細設計
- ・ 平成 32 年度（2020 年度）：阪急東側線（残区間）の整備工事

（3）自転車駐車場の形態・運営の見直し

【概要】

自転車駐車場整備センターが運営・管理する駐輪場について、返還等の実現に向けた調整を図り、今後の運営・管理手法の見直しを進めます。

【スケジュール】

- ・ 平成 29 年度（2017 年度）：自転車駐車場整備センターとの協議、具体化への準備
- ・ 平成 30 年度（2018 年度）～：駐輪場の運営・管理手法見直しの実施
 - ・ モデルケース（曾根駅、緑地公園駅地区）の民営化
 - ・ 占用料の徴収

3-6. 公共交通の安全性・利便性の向上

だれもが気軽にかけられるよう、市民の移動手段を確保するとともに地球温暖化防止を図り、マイカーに頼らない交通体系を確立するため、公共交通の利便性及び快適性の向上を推進します。

(1) 公共交通改善計画の策定

【概要】

将来的な人口減少・少子高齢化の進展及び北大阪急行の延伸事業などにより、公共交通を取り巻く環境の変化が想定され、この維持・向上が課題となることから、「公共交通改善計画」を策定し、持続可能な公共交通の構築を図ります。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

「豊中市地域公共交通協議会」および市民説明会、庁内会議を実施するとともに、協議会や市民説明会における議論や、地元、庁内の意見を反映しながら計画内容の検討を行い、公共交通改善計画（素案）の策定を行います。

【スケジュール】

- ・平成 29 年度（2017 年度）：庁内・事業者協議、行政素案策定、検討協議会設立
- ・平成 30 年度（2018 年度）：検討協議会実施、計画内容の検討、計画素案策定
- ・平成 31 年度（2019 年度）：改善計画の成案化・公表、施策実施準備
- ・平成 32 年度（2020 年度）：施策実施

(2) 千里中央駅前広場再整備検討（再掲）

P 9. 3. 3-1 (3)

(3) 可動式ホーム柵導入の推進（再掲）

P 16. 3. 3-3 (3)

(4) バス停ベンチ設置の推進

【概要】

市民からの要望が多いバス停ベンチの設置を推進するため、バス事業者が実施するバス停のベンチ設置に対して補助を行います。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

- ・バス事業者が実施するバス停ベンチ設置に要する費用の 1/2 を市が補助します。
なお、ベンチ設置箇所は、要望を踏まえバス事業者と市が協議し決定します。



(5) ノンステップバス導入の推進

【概要】

ノンステップバスの導入を推進するため、「ノンステップバス導入計画」に基づき、バス事業者に対し経費補助を行います。



3-7. 都市基盤の長寿命化の推進

道路・橋梁・水路の維持修繕については、損傷が激しくなってから修繕を行う「事後保全」から、定期的な点検を行い損傷が軽微な段階で早期対策を行う「予防保全」へと政策転換を図ることにより、道路・橋梁・水路の長寿命化並びにライフサイクルコストの縮減を図るとともに、道路網の安全性・信頼性の確保を図ります。

(1) 道路橋等の長寿命化事業

【概要】

平成 29 年(2017 年)1月に策定した「豊中市道路橋長寿命化修繕計画」に基づき、健全度評価の低い橋梁から補修工事及び耐震補強工事を実施します。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

①道路橋長寿命化事業

○橋梁名：赤塚橋

改修工事：塗装塗替工
コンクリート補修工
床版撤去・復旧工(グレーチング床版)
伸縮装置設置工
橋梁用防護柵工
橋面防水工
舗装打換工



【赤塚橋】

※国費の内示割れによる実施見送り

○橋梁名：無名橋 1041

改修工事：旧橋撤去工
プレキャストボックスカルバート工
舗装工



【無名橋 1041】

②千里地区歩路橋改修事業

○橋梁名：千里橋

【概要】

千里橋は、大阪府により昭和45年（1970年）に架設され、千里中央地区と新千里西町地区との連絡橋として、多数の歩行者や自転車利用者が通行し、緊急交通路である新御堂筋を跨ぐ跨道橋であるため、点検結果に基づく修繕により長寿命化を図るとともに、被災による道路交通の分断を未然に防止するため、耐震補強を行います。

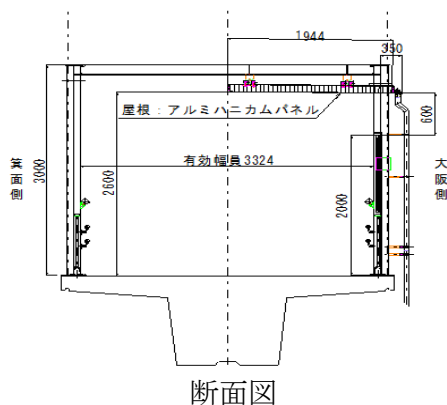
また、よみうり文化センター（千里中央）再整備事業による高層ビル建設に伴い、ビル風が予測されることから、事業者の協力の元、防風パネルの設置とともに、歩路橋利用者の安全性と快適性を確保するため、屋根、高欄、手摺及び照明施設等の整備を行います。

【平成30年度（2018年度）事業概要】

- ・（現況）L=91m、W=3.8m（千里橋）、L=58m、W=2.2m（千里橋斜路橋）
- ・（計画）L=91m、W=3.3m（千里橋）、L=58m、W=2.2m（千里橋斜路橋）
- ・補修工、耐震補強工、防風パネル工、屋根等設置工、西側取付部全面屋根等設置工

【スケジュール】

- ・平成26年度（2014年度）：交通量調査
- ・平成27年度（2015年度）：関係機関等との協議、地質調査、詳細設計
- ・平成28年度（2016年度）：関係機関等との協議
- ・平成29年度（2017年度）：仮設工、支承製作工
- ・平成30年度（2018年度）：補修工、耐震補強工、防風パネル工、屋根等設置工



○橋梁名：上天竺橋

改修工事：塗装塗替工

コンクリート補修工

防護柵取替工

伸縮装置取替工

橋梁用防護柵工

排水施設補修工

高欄照明設置工

橋面防水工

舗装工

耐震工事：落橋防止(緩衝チェーン)設置



【上天竺橋】

③道路照明改修

○小野原豊中線

○緑地公園駅前線外5路線

(2) 道路ストックの総点検

【概要】

老朽化する道路ストックを適切に維持管理できるよう、調査・点検を実施し、道路利用者及び第三者被害の防止に努めます。

【平成30年度(2018年度)事業概要】

①道路附属物改修事業

○反射鏡点検調査

○小型標識点検調査

②街路樹更新事業

○街路樹維持管理計画策定

(3) 路面下空洞調査事業

【概要】

道路陥没の発生件数は横ばい傾向にあるが、近年、重大な被害をもたらす大規模な陥没が連続していることから、陥没事故を未然に防止し、市民の安心・安全な交通を確保するため、路面下空洞調査を実施します。

【平成30年度(2018年度)事業概要】

・今後の調査方針の検討

(4) 主要道路舗装事業

【概要】

平成 27 年（2015 年）6 月に策定した「豊中市幹線道路舗装修繕計画」に基づき、舗装の劣化が著しい区間から主要道路の舗装修繕を行います。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

路線名	延長(m)	幅員(m)	面積(m ²)
千里西町センター通り線	340.0	7.4	2,516
島熊山東豊中線	140.0	7.0~8.0	1,104
緑地北側線	200.0	8.0	1,600
東豊中熊野田線	110.0	5.0	550
翠丘東豊中線	330.0	4.0~7.0	1,247
東泉丘第 14 号線	200.0	5.5	1,100
原田伊丹線	100.0	3.5	350
東丘小学校通り線	110.0	7.0	770
玉井町第 40 号線	70.0	4.0	280
計	1600.0		9,517

(5) 生活道路舗装事業

【概要】

道路パトロールや市民要望に基づく現地調査から舗装の損傷状態を把握し、必要に応じて劣化した舗装の補修を行います。

【平成 30 年度（2018 年度）事業概要】

- ・市内一円舗装補修

(6) 道路通報アプリの運用

【概要】

道路の不具合について、市民が手軽に通報できるように、スマートフォンが持つカメラやGPSの機能を利用した道路通報アプリ「まちカメくん」を平成 29 年（2017 年）10 月から試験的に運用しています。

【スケジュール】

- ・平成 29 年度（2017 年度）：試験運用開始
- ・平成 29～30 年度（2017～2018 年度）：効果検証、機能拡充検討
- ・平成 31 年度（2019 年度）：本格運用

4. その他の取り組み

4-1. 庄内東駅前線整備事業

【概要】

当該路線について、地元と意見調整を図りながら、通行の安全はもとより景観にも配慮した、庄内地区の玄関口としてふさわしい「躍動感とにぎわい」のある道路空間の整備を図ります。

【平成30年度（2018年度）事業概要】

- ・整備工事



【スケジュール】

- ・平成27年度（2015年度）：基本計画策定 整備イメージ
- ・平成28年度（2016年度）：地元調整、詳細設計
- ・平成29年度（2017年度）：整備工事（H29・30債務負担行為）
- ・平成30年度（2018年度）：整備工事（H29・30債務負担行為）

4-2. 平塚熊野田線整備事業

【概要】

神崎刀根山線と交差する狭隘ですれ違いが困難なボトルネック交差点の改良を図るため、用地買収を行い、円滑な車両通行を確保します。

【平成30年度（2018年度）事業概要】

- ・用地買収、建物補償
- ・安全対策等の管理工事、電柱移設

【スケジュール】

- ・平成27年度（2015年度）：関係機関等との協議、予備設計
- ・平成28年度（2016年度）：関係機関等との協議、詳細設計・用地測量
- ・平成29年度（2017年度）：鑑定・用地買収、建物補償
- ・平成30年度（2018年度）：用地買収、建物補償、管理工事
- ・平成31年度（2019年度）：整備工事

4-3. 上新田第45号線整備事業

【概要】

当該路線を支える石積み擁壁が崩壊したことから、用地買収を行い、道路幅員（W=4.0m）を確保した上で擁壁を設置し、道路利用者の安全な通行を確保します。

【平成30年度（2018年度）事業概要】

- ・工事

【スケジュール】

- ・平成25年度（2013年度）：地質調査、詳細設計
- ・平成28年度（2016年度）：用地測量、詳細設計修正
- ・平成29年度（2017年度）：用地買収
- ・平成30年度（2018年度）：工事

4-4. 末広町地区（千歳通り・若葉通り）の道路敷の適正化

【概要】

末広町、立花町の（通称）千歳通り・若葉通りは、大正9年（1920年）12月9日に豊中町第7号線及び8号線として認定し、住宅造成当時から5mの車道と両側約2mの植栽帯として整備され、植栽帯については住民が日常管理を行い良好な街並みを形成してきました。

しかし、時代の変遷の中で、植栽帯の管理がなされず、景観が損なわれていたり、道路管理が適正でない状況が見受けられる箇所もあるため、整備方針を定め、景観の維持・改善に努め、道路管理の適正化を図ります。

【平成30年度（2018年度）事業概要】

- ・自主管理していただく箇所については、管理協定を締結します。
- ・不正使用改善に理解を得ていない箇所については、改善に向け引き続き協議します。
- ・市管理箇所については、植栽帯の復元工事を実施します。

【スケジュール】

- ・平成26年度（2014年度）：地元説明
- ・平成27年度（2015年度）：整備方針確定
- ・平成27～30年度（2015～2018年度）：管理協定締結、不正使用改善協議、植栽帯復元工事
- ・平成31年度（2019年度）～：不正使用箇所への指導

4-5. 細街路計画の見直し

【概要】

高度経済成長期において無秩序な宅地開発を防ぎ、秩序ある良好なまちづくりを図るため、昭和48年（1973年）に「生活圏道路計画」を策定しました。計画策定から40年が経過し市街地の拡大も収束しており、本来の目的も一定果たされていることや、道路計画の根幹となる都市計画道路網も見直されたこと、また、地方自治法の改正などもあり、要綱に基づく指導では協力が得られなくなってきたことなどから、計画及び制度の見直しを行い条例化を図ります。

【平成30年度（2018年度）事業概要】

- ・地元説明について、企業立地促進計画と調整を図り連携して対応します。
- ・用地取得の制度、留保路線の扱い、用地の返還等について検討します。

【スケジュール】

- ・平成30年度（2018年度）：地元説明、条例案作成、関係部局協議
- ・平成31年度（2019年度）：条例案作成、関係部局協議、パブリックコメント、議会上程
- ・平成32年度（2020年度）：条例の施行

4-6. 寄附道路整備助成事業

【概要】

市街地における一定の道路幅員を有した地区内道路の公道化を目的に「私有道路敷寄付採納要綱」を昭和44年（1969年）に策定しました。この要綱に基づき、寄附を受けた道路敷のうち、自己居住用の住宅の建替え等による道路敷の寄附の場合は、市が道路整備及び測量を行ってきましたが、建築工事のスケジュールに迅速な対応が困難なことから寄附に至らないケースが増えてきました。そのため、平成29年度（2017年度）より、工事費等の費用について助成制度の導入により、迅速な対応ができるよう、新たに「豊中市狭あい道路等の寄附に関する要綱」を策定し、私道の公道化と道路機能の確保を図ります。

4-7. 歳入確保の取り組み

道路予定地活用事業

今後増加が見込まれる道路・橋梁などの維持管理経費に充てるため、事業着手が当面見込めない道路予定地を駐車場事業として運営する民間事業者の使用を許可します。

<平成30年（2018年）4月時点実績>

設置場所	所在地	使用面積 及び部分	使用事業者名
市道千里園熊野田線	豊中市本町9丁目	936㎡	レアル・ユウ株式会社
豊中柴原線	豊中市刀根山2丁目	436㎡	株式会社音通

4-8. 風水害警戒体制

【概要】

風水害対策本部が設置されるまでの初動体制として、危機管理課、上下水道局及び消防局の職員と協力し、大雨や台風の接近に伴う災害等の警戒や防御を担っています。



平成18年（2006年）の集中豪雨



水防訓練（土のう積み工）

4-9. ほたるの夕べ

【概要】

昭和 58 年（1983 年）、豊中市は公共下水道事業の啓発及び水に親しむ環境整備を図るため、下水処理水を利用した親水水路（新豊島川）の整備に取り組みました。

平成元年（1989 年）からは、親水水路の一部（蛍の里）において、人工飼育した蛍の公開を始め、現在も市の風物詩として親しまれています。



蛍の里内部写真



ポスター

